

都市再生整備計画(第4回変更)

こうべみょうだにちく
神戸名谷地区

ひょうご こうべ
兵庫県 神戸市

令和8年1月

| 事業名 | 確認 |
|-----------------|----|
| 都市構造再編集集中支援事業 | ■ |
| 都市再生整備計画事業 | □ |
| まちなかウォークアブル推進事業 | □ |

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

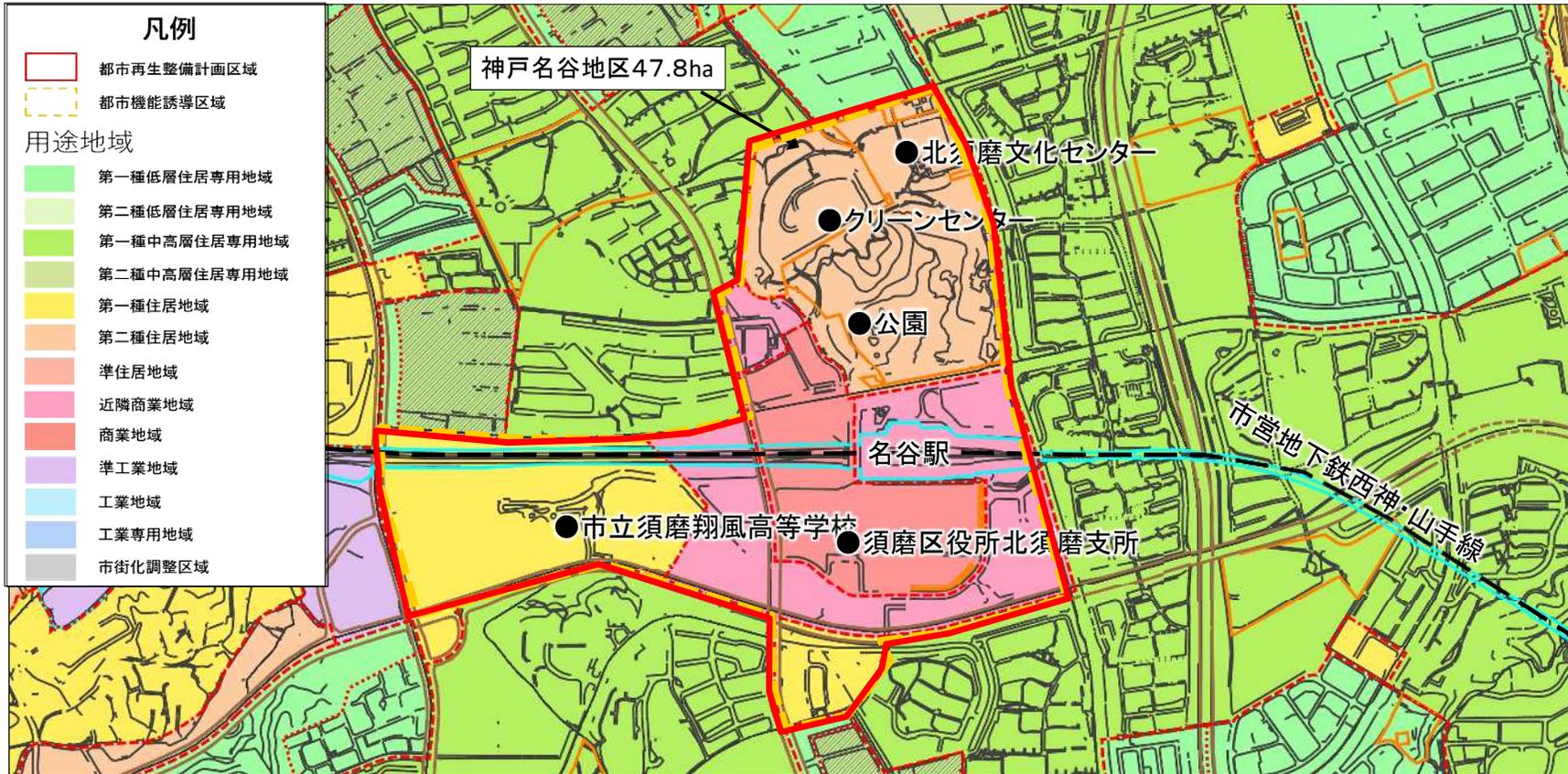
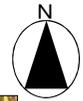
| | | | | | | | | |
|-------|--------------------|------|--------------------|-----|--------|----|------|----|
| 都道府県名 | 兵庫県 | 市町村名 | 神戸市 | 地区名 | 神戸名谷地区 | 面積 | 47.8 | ha |
| 計画期間 | 令和 4 年度 ~ 令和 10 年度 | 交付期間 | 令和 4 年度 ~ 令和 10 年度 | | | | | |

| |
|---|
| <p>目標</p> <p>新たに行政施設等の整備に合わせて、駅周辺一体のリノベーションを図り、まちの一層の魅力向上や活性化を目指す</p> <p>目標1: 名谷駅周辺の行政施設をはじめとする都市施設へのアクセス性や、駅周辺の商業施設等を含めた回遊性の向上</p> <p>目標2: 名谷駅周辺の魅力向上やにぎわいの創出</p> |
| <p>目標設定の根拠</p> <p>都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針)</p> <p>本市では、50年先も心地よく健やかに住み続けられるまちをめざし、「コンパクト・プラス・ネットワーク」「様々な分野との連携」といった観点で取り組みを進める。</p> <p>■コンパクト・プラス・ネットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減少や多様なライフスタイルに対応した都市計画制度等の適切な運用をすべく、原則として過剰開発等による市街化区域の拡大を抑制し、良好な既存ストックを有効に活用する。 広域型都市機能の維持・充実・強化として、広い範囲をサービスの対象とする広域都市機能を、都市の中心となる拠点や生活の中心となる拠点に誘導する。 便利で快適・効率的な人とモノの移動環境の確保として、市域を越える広域交通ネットワークと連携を図りながら、総合的な交通環境の形成をめざし、鉄道やバスなどの公共交通を中心とした交通ネットワークの維持・形成を推進する。 <p>■様々な分野との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市計画だけでなく住宅、公共施設、医療・福祉、子育て、教育などまちづくりに関する様々な分野と連携を図りながら施策を推進する。 市街化区域においては、地域の課題に応じて「生活関連サービスの確保」「良好な地域コミュニティの維持」「安定した雇用の創出・子育て環境の向上」など関連する施策を推進する。 市街化調整区域においては市街化区域と「連携」しながら施策を推進し、防災上課題のある個所についても市民の命を守るための施策に取り組む。 |
| <p>まちづくりの経緯及び現況</p> <p>○神戸名谷地区</p> <ul style="list-style-type: none"> 昭和30年代、産業の発展と急速な人口増加により、臨海部における産業用地の造成と良質な住宅の確保が必要となり、須磨ニュータウンの造成開始。その後昭和40年代にまちびらき順次拡大。 昭和44年に高度経済成長期の既存市街地の人口・産業の流入と集中過密化を防ぐため、落合・名谷地区開発基本計画を策定。 昭和52年に神戸市営地下鉄西神・山手線名谷駅の開業とともに、須磨区役所北須磨支所の開設。 令和元年12月に公表した「リノベーション・神戸」第2弾において、神戸市西部の3駅(名谷、西神中央、垂水)を対象に、子育て支援機能の強化、商業業務機能の充実、文化・スポーツ環境の充実を図る整備を進めるとともに駅周辺の住機能の強化し、人口誘引を目指す活性化プランを公表した。 令和2年3月に公表した「神戸市都市空間向上計画」において、名谷駅周辺は駅・主要バス停留周辺居住区域(居住誘導区域)および広域型都市機能誘導区域(郊外拠点型)が設定されている。 |
| <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 名谷駅周辺の行政施設をはじめとする都市施設へのアクセス性や、駅周辺の商業施設等を含めた回遊性の向上 名谷駅周辺の魅力向上やにぎわいの創出 |
| <p>将来ビジョン(中長期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●神戸2025ビジョン 名谷駅は駅や駅周辺施設へのアクセス性の改善、駅前広場などの再整備を進めるほか、拠点性の向上・駅前空間の活性化にあわせてさまざまな取り組みを実施・検討することとしている。 ●神戸市都市計画マスタープラン 名谷駅周辺は地域での都市活動や文化活動を支える「地域拠点」とし、公共交通機関の結節機能の強化や商業・業務・文化・居住機能などの集積を図ることとしている。 ●神戸市都市空間向上計画 名谷駅周辺は駅・主要バス停留周辺居住区域(居住誘導区域)および広域型都市機能誘導区域(郊外拠点型)が設定されている。 |

| 計画区域の整備方針 | 方針に合致する主要な事業 |
|--|---|
| <p>【名谷駅周辺の行政施設をはじめとする都市施設へのアクセス性や、駅周辺の商業施設等を含めた回遊性の向上】 名谷駅周辺の再整備により交通結節点としての機能を高め、名谷地区を中心とする周辺地域からのアクセス性、駅周辺の回遊性の向上を図る。</p> | <p>【基幹事業】(道路)周辺施設への歩行者動線の整備(落合環状線) 【基幹事業】(道路)周辺施設への歩行者動線の整備(落合中央線) 【基幹事業】(道路)周辺施設への歩行者動線の整備(名谷環状線) 【基幹事業】(道路)道路空間再配分(中落合8号線) 【基幹事業】(地域生活基盤施設 広場)駅北側広場整備(ロータリー再編) 【基幹事業】(地域生活基盤施設 自転車駐輪場)自転車駐輪場整備 【基幹事業】(地域生活基盤施設 情報板)デジタルサイネージ整備(名谷駅) 【基幹事業】(高質空間形成施設)中落合12号高質化 【基幹事業】(高質空間形成施設)落合中央線の歩行者空間整備 【基幹事業】(高質空間形成施設)西落合1号線の障害者誘導施設整備 【関連事業】立体駐車場整備、広場整備(買物広場)、行政機能ビルの新築</p> |
| <p>【名谷駅周辺の魅力向上やにぎわいの創出】 ・名谷駅舎リニューアルや駅周辺の行政機能ビルの新築や広場整備にあわせて、新たな賑わい創出や交流促進を目指した公園整備や駅周辺の魅力的な質の高い空間づくりに取り組む。</p> | <p>【基幹事業】(公園)落合中央公園ほか2公園整備 【基幹事業】(高質空間形成施設)中落合12号高質化 【基幹事業】(高質空間形成施設)落合中央線の歩行者空間整備 【関連事業】駅舎リニューアル事業 【関連事業】立体駐車場整備、広場整備(買物広場)、行政機能ビルの新築 【関連事業】駅前広場(南側)利活用</p> |
| <p>その他</p> | |

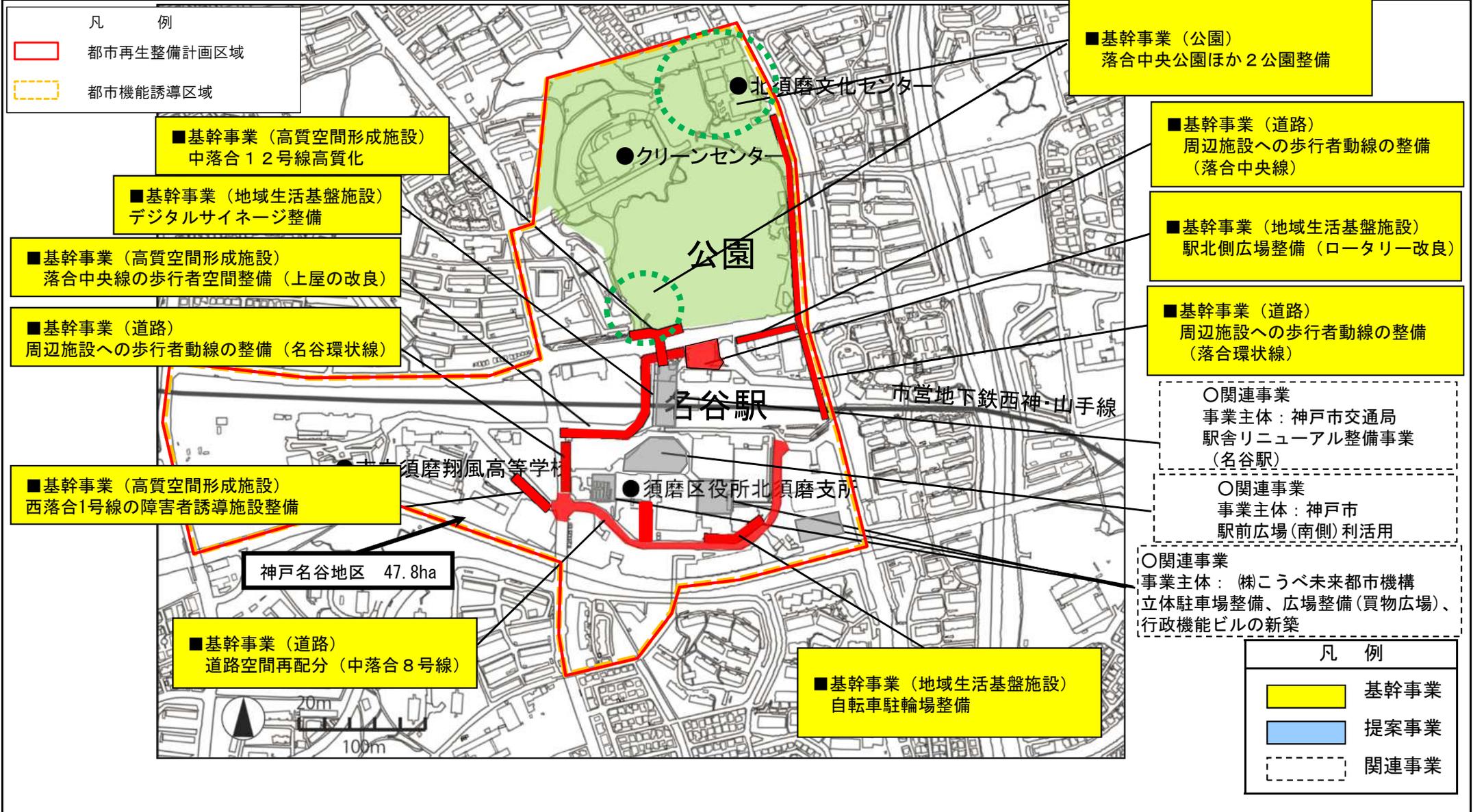
神戸名谷地区(兵庫県神戸市)

| | | | |
|----|---------|----|----------------------------|
| 面積 | 47.8 ha | 区域 | 神戸市須磨区中落合2丁目、3丁目の一部、西落合1丁目 |
|----|---------|----|----------------------------|



神戸名谷地区(兵庫県神戸市) 整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

| | | | | | | | | |
|----|--|--------|----------------------------|--------|-------|---|-------|--------|
| 目標 | 新たに行政施設等の整備に合わせて、駅周辺一体のリノベーションを図り、まちの一層の魅力向上や活性化を目指す 目標1: 名谷駅周辺の行政施設をはじめとする都市施設へのアクセシビリティや、駅周辺の商業施設等を含めた回遊性の向上 目標2: 名谷駅周辺の魅力向上やにぎわいの創出 | 代表的な指標 | 名谷駅乗車人員 (人/日) | 20,421 | (2年度) | → | 20421 | (10年度) |
| | | | 待っている人の数(駅前広場(南側)) (人/12h) | 869 | (2年度) | → | 869 | (10年度) |
| | | | 公共空間の利活用申込数 (日/年) | 3 | (2年度) | → | 6 | (10年度) |



都市構造再編集集中支援事業事前評価シート

計画の名称:神戸名谷地区 事業主体名: 神戸市

チェック欄

| I. 目標の妥当性 | |
|-----------------------------------|---|
| ①都市再生基本方針との適合等 | |
| 1)まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。 | ○ |
| 2)上位計画等と整合性が確保されている。 | ○ |
| ②地域の課題への対応 | |
| 1)地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。 | ○ |
| 2)まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い | ○ |
| II. 計画の効果・効率性 | |
| ③目標と事業内容の整合性等 | |
| 1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。 | ○ |
| 2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。 | ○ |
| 3)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。 | ○ |
| 4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。 | ○ |
| 5)地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。 | ○ |
| ④事業の効果 | |
| 1)十分な事業効果が確認されている。 | ○ |
| 2)事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。 | ○ |
| III. 計画の実現可能性 | |
| ⑤地元の熱意 | |
| 1)まちづくりに向けた機運がある。 | ○ |
| 2)住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。 | ○ |
| 3)継続的なまちづくりの展開が見込まれる。 | ○ |
| ⑥円滑な事業執行の環境 | |
| 1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。 | ○ |
| 2)交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。 | ○ |
| 3)計画について住民等との間で合意が形成されている。 | ○ |